

学校だより 10月号

TEL 048 (548) 1004

FAX 048 (547) 1467

令和元年 10月1日
鴻巣市立小谷小学校

小谷っ子

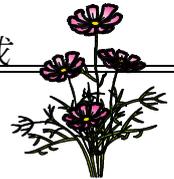
URL

<http://koya-e.konosu.ed.jp>

e-mail koya-e@city.konosu.ed.jp

毎月19日は「食育の日」です

【学校教育目標】 夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成



謙遜の美！？

～子どもたちに受け継いでいきたい日本人の心～

校長 池澤 道弘

つい先日まで、外に出たくないような猛暑が続いていましたが、朝夕を中心にだいぶ暑さも和らいできました。「暑さ寒さも彼岸まで」と言われますが、秋分の日を境に秋がぐっと深まり、夜は虫の鳴き声も聞こえてきます。9月は台風15号の関東地方直撃があり、本校も木の枝が折れるなどの被害がありました。施設・設備への支障はありませんでした。大きな被害を受け、現在もなお、不自由な生活を強いられている千葉県の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。その一方、9月20日には、アジアで初となるラグビーワールドカップ日本大会が開催されました。被災地千葉県にも勇気を与えてくれる日本代表の頑張りは本当に素晴らしいと思います。

因みに校長室には、日本代表SH田中史朗選手のサイン色紙があります。これは、田中選手の奥様が鴻巣南中出身ということがご縁で、平成28年に田中選手が鴻巣中央小で市内の小中学生を対象にラグビースクールを開催してくださった時に、各学校に書いてくださったものです。サインの他にも、寄せ書きなど「色紙」は私たちの身近にあるものですが、何年か前

にある方から色紙についてこんな話を聞きました。
色紙に何か書くのは白い面だけれど、色紙には色の付いている面があり、本来はその色の付いている面が表になっている。では、なぜ白い方に書くのか。「何か一言書いてください」と色紙を手渡されても、「いやいや、私などは」とお断りする。それでも、二度、三度と頼まれたなら、「それでは…」と引き受けるけれど、それでも「自分などは堂々と表に書けるほどの人間ではない」という気持ちを表して、裏面（つまり白い方）に書くという日本人の「謙遜の美」が隠されている。

この話を聞いた時は大変感動したのですが、後ほど調べてみたらこの話は俗信で、実際には用途面では白い面が本来の表面であり、金粉などの装飾はあくまで色紙を飾るときの見栄えを良くするために過ぎないということが分かりました。でも、私は俗信の方が日本的で好きです。科学の進歩により、世界がぐんと身近になり、日本人の生活様式も昔とは大きく変わりました。小学校でも来年度から高学年の外国語が教科になるなど、今後は益々グローバル化に対応できる子どもたちの育成が求められています。そんな時代にあっても、古き良き時代の日本、そして「おもてなし」をはじめとした日本人の心を受け継いでいける子どもたちを育てていくことも私たちの大切な役割ではないかと思えます。



学力・学習状況調査の結果について

1学期に行った2つの学力・学習状況調査の結果をお知らせします。6年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」は、今年度よりA（主として知識）B（主として活用）という区分がなくなりました。本校の結果は、国語は埼玉県や全国の正答率を上回りましたが、算数は逆に埼玉県及び全国の正答率をやや下回ってしまいました。また、4年から6年生を対象とした「埼玉県学力・学習状況調査」では、5年生、6年生ともに国語においても算数においても埼玉県の学力の伸びた児童の割合を上回ることができました。

学力・学習状況調査は、子どもたちの現在の学力の実態を把握し、今後の指導に活かすことが目的です。まずは、どこが理解できていて、どこが課題であるのか、学校だけでなく本人や保護者と共通理解を図っていくことが大切だと考えます。その上で、授業の改善や家庭学習の習慣化等に役立て、児童の学力の向上につなげていきたいと思えます。今後とも、ご理解、ご協力をお願いします。